

Weekly コラム

平成 27 年 10 月 13 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会)

Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

カイコを回顧

日本が少子高齢化社会になっていることに伴い、認知症患者が年々増え続けていることが厚生労働省の調査で明らかになっています。65歳以上の高齢者のうち認知症を発症している人は2012年時点で約462万人に上り、2025年にはその約1.5倍となる700万人を超えるとの推計が発表されました。また、認知症の前段階である軽度認知障害（MCI）の患者数を加えますと、約1,300万人となり、65歳以上の3人に1人が認知症患者とその予備軍といえます。

根本的な治療法がない認知症ですが、昆虫のカイコにこの認知症を改善するヒントがありました。カイコのサナギに寄生するキノコの一種、カイコ冬虫夏草に人の記憶力を回復させる効果があることが分かったのです。そもそも、認知症患者は記憶を司る海馬が萎縮する症状が見られ、進行するにつれて、短期記憶の能力が著しく低下してしまいます。しかし、カイコ冬虫夏草から分泌される成分が海馬で起こっている細胞形態変化や異常繁殖を伴った神経膠症を消失させることがわかったのです。この冬虫夏草の煮出し汁を実験用のマウスに飲ませたところ、脳の中で記憶を司る海馬の傷（グリオーシス）が治り、記憶力が良くなったそうです。

そこで、人にも応用できるのではないかと臨床実験が行われました。4年前に認知症と診断された方が、病院で処方された薬と合わせてカイコ冬虫夏草の粉末を1日2回投与していました。当初は、日付事に薬の仕分けをする単純な作業もできなかったのですが、約3カ月経ったときには、間違えずに仕分ける工夫をし始めるようになったのです。また、別の認知症患者におきましては、歯医者での会計では1万円しか渡せなかったのですが、3ヶ月で小銭を渡せるまでに改善したのです。

現時点では認知症の治療薬はなく、進行を遅らせる医療品の開発が進んでいるのが実態です。また、動物では良い結果が出たけれども人には効果がなかったという薬は今までも沢山ありました。ですので、今後これが新薬と認められ製品化されれば、認知症患者を抱えている人にとっては一筋の光となるのではないのでしょうか。世界におきましても、認知症患者は毎年770万人ずつ増加しており、世界の認知症患者は2030年には2012年時点の2倍、2050年には3倍以上になるとWHOは推測している程です。そのような状況を解決するためにもいち早く製品化してほしいものです。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。